

鹿児島女子短期大学

FD・SD 活動報告書 2023

1. 学生による授業評価
2. 授業公開
3. ティーチング・ポートフォリオ
4. FD・SD 研修会

FD・SD委員会

1. 学生による授業評価

＜授業評価アンケート実施内容＞

(単位：名)

年度	学期	教員・助手 総数	教員・助手 提出総数	非常勤教員 実施・授業改善書提出数
2023年度	前期	46	44 (95.6%)	13
	後期	45	43 (95.5%)	16

学生による授業評価アンケート

本学では毎学期、すべての授業を対象に「学生による授業評価アンケート」を実施しています。昨年度までは、各教員がアンケート結果を基に授業改善報告書を作成していましたが、今年度からはティーチング・ポートフォリオ (TP) の導入に伴い、アンケート結果を自身の授業の「評価」を記載する際の重要な資料として活用することになりました。

2023年度の授業評価アンケートは、全開講科目を対象に実施され、平均回収率は65.9%でした。教科ごとに回収率には差があり、最高回収率は100%、最小回収率は10.7%でした。以下に、具体的な実施内容を記載します。

授業評価アンケートについて (令和5年度後期)

FD・SD委員会

1. 後期授業評価アンケートについて

実施期間：1月9日(火)～1月31日(水)

実施方法：Unipaメニュー「授業」内「授業評価回答」機能

対象者：各科目履修者

※15回授業の科目では可能な限り授業内で回答の時間をお取りください。

(回答の時間を取らない場合も回答の依頼をしてください。)

※授業評価第20問の回答には当該科目で修得すべき主なDPの内容と番号を把握している必要があります。本学HPのカリキュラムマップを参照するよう指導してください。

(学生に対してもUnipaでURLを連絡します。)

URL：<https://www.jkajyo.ac.jp/introduction/disclosure/disclosure.html#map>

2. ティーチング・ポートフォリオへの追加記載事項について

前期末にご提出いただいたティーチング・ポートフォリオの「成果」欄に、前期に倣って、後期授業評価アンケートに関する記述・評価を追加してください。

「成果」は、学生の学習成果を示し授業の達成状況を把握することが重要ですが、同時にそれを受け、自身の授業の改善点や次年度に向けて省察するための大切な材料となるものです。記載する内容は、他人から評価を受けるためのものではなく、自らの教育活動を改善・創造するものと捉えていただけるとありがたいです。

併せて、「カリキュラムポリシーに則って授業が行われたか」について、従来の「授業改善計画」と同様に記述してください。(その際、ご自身の科目の、カリキュラムツリーやカリキュラムマップ上の位置づけをご確認ください。適正なクラス分け、時間割だったかについてもお書き添えて結構です。)

なお、2月教授会後のFD研修で、追加記載事項について改めて説明する予定です。

回答者には以下のイメージで表示されます。

123456789 科目A (教員B)

※【令和5年度前期】授業評価アンケート

※次の質問について5段階で1番近いと思われるものを選んでください。

あなたについて…

1. あなたは授業を何回欠席しましたか。 (必須)

- 欠席なし 1回 2回 3回 4回以上

2. あなたは『シラバス』をよく読みましたか。 (必須)

- 全く読んでいない あまり読んでいない どちらともいえない おおむね読んだ 十分に読んだ

3. あなたは予習や復習を十分にしましたか (必須)

- 全くしていない あまりしていない どちらともいえない おおむねやった 十分にやった

4. あなたは授業の内容を理解することができましたか。 (必須)

- 全くできていない あまりできていない どちらともいえない おおむねできた 十分にできた

5. あなたの受講態度を次の中で評価してください。 (必須)

- 悪い どちらかという悪い どちらともいえない どちらかという良い 良い

授業について…

6. 授業は『シラバス』に沿って行なわれましたか。 (必須)

- 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う

7. 授業はよく準備されていましたか。 (必須)

- 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う

8. 毎回の授業の目標は明確になっていましたか。 (必須)

- 全くそうは思わない そうは思わない どちらとも言えない そう思う 強くそう思う

9. 教員の説明は分かりやすかったですか。 (必須)

- 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う

10. 発見や感動などがあり、興味の持てる授業でしたか。 (必須)

- 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う

11. 教員と学生の間やり取りがあるなど、授業に活気がありましたか。 (必須)

- 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う

12. 教員の声は十分に大きく、明瞭な話し方でしたか。 (必須)

- 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う

13. 板書の仕方、パワーポイントの表示の仕方、プリントの用い方は適切でしたか。 (必須)

- 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う

14. 始業・終業時間を含め、時間配分は適切でしたか。 (必須)

- 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う

15. 教員の熱意を感じましたか。 (必須)

全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う

16. 教員は、学生に公平に接していましたか。 (必須)

全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う

17. テキスト、ビデオ、プリント資料などの教材は理解の助けになりましたか。 (必須)

全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う

18. この授業にとって教室の環境、設備などは適切でしたか。 (必須)

全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う

19. この授業を総合的に次の5段階で評価してください。 (必須)

悪い どちらかという悪い どちらともいえない どちらかという良い 良い

20. この授業の主要な到達目標（カリキュラムマップ参照）について、自分の達成度を次の5段階で評価してください。 (必須)

ほとんど達成できなかった あまり達成できなかった どちらともいえない おおむね達成できた 十分達成できた

21. この授業で良かったと思うことを入力してください。**22. この授業で良くなかったと思う点、改善すべきだと思う点を入力してください。****23. この授業について、教室・施設・設備も含め、不満・要望・その他があれば入力してください。**

これ以降の設問には児童教育学科・生活福祉専攻・食物栄養学専攻の方が対象となる授業のアンケートでのみ回答してください。

※対象授業

■児童教育学科

幼稚園教育実習Ⅱ指導
保育所実習Ⅱ指導
施設実習Ⅰ指導
施設実習Ⅱ指導

■生活福祉専攻

生活支援技術A
経管栄養演習
生活支援技術C
生活支援技術（食・衣）

■食物栄養学専攻

調理学実習基礎
食品学実験
調理学実習Ⅱ

解剖生理学実験
給食管理実習 I
給食実務演習 I
栄養指導実習 I
臨床栄養学実習
食品加工学実習

24. 助手・副手は、授業が円滑に行われるよう、担当教員をサポートしていましたか。【対象授業※のみ】

- 全くそうは思わない
 そうは思わない
 どちらともいえない
 そう思う
 強くそう思う

25. 助手・副手は、学生に公平に接していましたか。【対象授業※のみ】

- 全くそうは思わない
 そうは思わない
 どちらともいえない
 そう思う
 強くそう思う

26. 実験・実習に使う試薬・食材は漏れなく準備されていましたか。【対象授業※のみ】

- 全くそうは思わない
 そうは思わない
 どちらともいえない
 そう思う
 強くそう思う

27. 実験・実習に使う機械・物品等が故障・破損した場合に、助手・副手は適切に対応しましたか。【対象授業※のみ】

- 全くそうは思わない
 そうは思わない
 どちらともいえない
 そう思う
 強くそう思う

28. わからないことがあったとき、助手・副手は寄り添って「わかった」を引き出してくれましたか。【対象授業※のみ】

- 全くそうは思わない
 そうは思わない
 どちらともいえない
 そう思う
 強くそう思う

29. 授業が時間内に終わるよう、助手・副手は教員と適切に連携を取っていましたか。【対象授業※のみ】

- 全くそうは思わない
 そうは思わない
 どちらともいえない
 そう思う
 強くそう思う

回答

■ 授業評価集計結果（例示：2023年度前期全体 Universal Passportによる結果表示）

期間：2023/07/10（月）09:00～2023/08/15（火）23:59

対象人(延べ数)：9974人 回答人(延べ数)：6127人 回答率 61.4%

※【令和5年度前期】授業評価アンケート

※次の質問について5段階で1番近いと思われるものを選んでください。

あなたについて・・・

質問	回答	比率	人数
1. あなたは授業を何回欠席しましたか。（必須）	欠席なし	69%	4242人
	1回	20%	1210人
	2回	7%	423人
	3回	3%	164人
	4回以上	1%	88人
2. あなたは『シラバス』をよく読みましたか。（必須）	全く読んでいない	6%	344人
	あまり読んでいない	17%	1014人
	どちらともいえない	24%	1454人
	おおむね読んだ	42%	2573人
	十分に読んだ	12%	742人
3. あなたは予習や復習を十分にしましたか（必須）	全くしていない	6%	360人
	あまりしていない	17%	1042人
	どちらともいえない	30%	1817人
	おおむねやった	33%	2051人
	十分にやった	14%	857人
4. あなたは授業の内容を理解することができましたか。（必須）	全くできていない	0%	20人
	あまりできていない	3%	188人
	どちらともいえない	13%	801人
	おおむねできた	57%	3468人
	十分にできた	27%	1650人
5. あなたの受講態度を次の中で評価してください。（必須）	悪い	0%	9人
	どちらかという悪い	1%	57人
	どちらともいえない	14%	833人
	どちらかという良い	45%	2761人
	良い	40%	2467人

授業について・・・

質問	回答	比率	人数
6. 授業は『シラバス』に沿って行なわれましたか。（必須）	全くそうは思わない	0%	7人
	そうは思わない	1%	42人
	どちらともいえない	18%	1080人
	そう思う	52%	3199人
	強くそう思う	29%	1799人
7. 授業はよく準備されておりましたか。（必須）	全くそうは思わない	0%	3人
	そうは思わない	1%	34人
	どちらともいえない	5%	319人
	そう思う	45%	2765人
	強くそう思う	49%	3006人
8. 毎回の授業の目標は明確になっておりましたか。（必須）	全くそうは思わない	0%	11人

そうは思わない		1%	53人
どちらとも言えない		7%	425人
そう思う		47%	2895人
強くそう思う		45%	2743人

9. 教員の説明は分かりやすかったですか。 (必須)

		比率	人数
全くそうは思わない		0%	21人
そうは思わない		2%	110人
どちらともいえない		9%	540人
そう思う		45%	2731人
強くそう思う		44%	2725人

10. 発見や感動などがあり、興味の持てる授業でしたか。 (必須)

		比率	人数
全くそうは思わない		0%	15人
そうは思わない		2%	106人
どちらともいえない		10%	601人
そう思う		47%	2851人
強くそう思う		42%	2554人

11. 教員と学生の間にやり取りがあるなど、授業に活気がありましたか。 (必須)

		比率	人数
全くそうは思わない		1%	46人
そうは思わない		4%	240人
どちらともいえない		15%	910人
そう思う		43%	2627人
強くそう思う		38%	2304人

12. 教員の声は十分に大きく、明瞭な話し方でしたか。 (必須)

		比率	人数
全くそうは思わない		0%	17人
そうは思わない		1%	82人
どちらともいえない		7%	426人
そう思う		40%	2475人
強くそう思う		51%	3127人

13. 板書の仕方、パワーポイントの表示の仕方、プリントの用い方は適切でしたか。 (必須)

		比率	人数
全くそうは思わない		0%	10人
そうは思わない		1%	57人
どちらともいえない		7%	432人
そう思う		45%	2767人
強くそう思う		47%	2861人

14. 始業・終業時間を含め、時間配分は適切でしたか。 (必須)

		比率	人数
全くそうは思わない		0%	20人
そうは思わない		2%	102人
どちらともいえない		8%	498人
そう思う		45%	2730人
強くそう思う		45%	2777人

15. 教員の熱意を感じましたか。 (必須)

		比率	人数
全くそうは思わない		0%	10人
そうは思わない		1%	43人
どちらともいえない		6%	382人
そう思う		43%	2657人
強くそう思う		50%	3035人

16. 教員は、学生に公平に接していましたか。 (必須)

		比率	人数
全くそうは思わない		0%	13人
そうは思わない		1%	43人
どちらともいえない		6%	362人
そう思う		44%	2694人
強くそう思う		49%	3015人

17. テキスト、ビデオ、プリント資料などの教材は理解の助けになりましたか。 (必須)

		比率	人数
全くそうは思わない		0%	10人
そうは思わない		1%	31人
どちらともいえない		6%	359人
そう思う		43%	2653人
強くそう思う		50%	3074人

18. この授業にとって教室の環境、設備などは適切でしたか。 (必須)

		比率	人数
全くそうは思わない		0%	5人
そうは思わない		1%	36人

どちらともいえない		5%	336人
そう思う		46%	2830人
強くそう思う		48%	2920人

19. この授業を総合的に次の5段階で評価してください。 (必須)

	比率	人数
悪い	0%	8人
どちらかという悪い	1%	54人
どちらともいえない	7%	406人
どちらかという良い	34%	2102人
良い	58%	3557人

20. この授業の主要な到達目標（カリキュラムマップ参照）について、自分の達成度を次の5段階で評価してください。 (必須)

	比率	人数
ほとんど達成できなかった	0%	7人
あまり達成できなかった	2%	114人
どちらともいえない	14%	862人
おおむね達成できた	57%	3515人
十分達成できた	27%	1629人

21. この授業で良かったと思うことを入力してください。

22. この授業で良くなかったと思う点、改善すべきだと思う点を入力してください。

23. この授業について、教室・施設・設備も含め、不満・要望・その他があれば入力してください。

これ以降の設問には児童教育学科・生活福祉専攻・食物栄養学専攻の方が対象となる授業のアンケートでのみ回答してください。

※対象授業

■児童教育学科

- 幼稚園教育実習Ⅱ指導
- 保育所実習Ⅱ指導
- 施設実習Ⅰ指導
- 施設実習Ⅱ指導

■生活福祉専攻

- 生活支援技術A
- 経管栄養演習
- 生活支援技術C
- 生活支援技術（食・衣）

■食物栄養学専攻

- 調理学実習基礎
- 食品学実験
- 調理学実習Ⅱ
- 解剖生理学実験
- 給食管理実習Ⅰ
- 給食実務演習Ⅰ
- 栄養指導実習Ⅰ
- 臨床栄養学実習
- 食品加工学実習

24. 助手・副手は、授業が円滑に行われるよう、担当教員をサポートしていただいたか。【対象授業※のみ】

	比率	人数
全くそうは思わない	0%	0人
そうは思わない	1%	2人
どちらともいえない	10%	35人
そう思う	37%	125人
強くそう思う	52%	173人

25. 助手・副手は、学生に公平に接していましたか。【対象授業※のみ】

	比率	人数
全くそうは思わない	0%	1人
そうは思わない	1%	2人
どちらともいえない	8%	27人
そう思う	38%	124人
強くそう思う	52%	170人

26. 実験・実習に使う試薬・食材は漏れなく準備されていましたか。【対象授業※のみ】

	比率	人数
全くそうは思わない	1%	2人
そうは思わない	0%	0人
どちらともいえない	8%	23人
そう思う	33%	89人
強くそう思う	58%	158人

27. 実験・実習に使う機械・物品等が故障・破損した場合に、助手・副手は適切に対応しましたか。【対象授業※のみ】

	比率	人数
全くそうは思わない	1%	2人
そうは思わない	0%	0人
どちらともいえない	6%	17人
そう思う	34%	90人
強くそう思う	59%	156人

28. わからないことがあったとき、助手・副手は寄り添って「わかった」を引き出してくれましたか。【対象授業※のみ】

	比率	人数
全くそうは思わない	1%	2人
そうは思わない	0%	1人
どちらともいえない	9%	28人
そう思う	35%	109人
強くそう思う	55%	171人

29. 授業が時間内に終わるよう、助手・副手は教員と適切に連携を取っていましたか。【対象授業※のみ】

	比率	人数
全くそうは思わない	0%	0人
そうは思わない	0%	0人
どちらともいえない	11%	34人
そう思う	37%	115人
強くそう思う	52%	161人

集計結果CSV出力

2023 年度 「学生による授業評価アンケート」の結果と活用に関して

【趣旨】

本学で、FD 活動の一環として、毎年度前期・後期の学期末に「学生による授業評価アンケート」を実施している。結果の活用法は、2023 年度より大きく変更され、各授業担当教員がティーチングポートフォリオを作成する際授業改善のための指標として活用されるだけでなく、学生が自由記述として記載したコメントを含め、全アンケート結果を FD 委員会で分析し、全学的に報告したり、FD 研修に活用したりするなどし、授業改善を図っている。

【実施状況】

2023 年度の授業評価アンケートは、全開講科目で実施され、平均回収率は前期 61.4%、後期 71.6%、トータルで 66.1%であり、前年度とほぼ同様となっている。教科ごとで回収率に差があり、最高回収率は 100%、最小回収率 10.7%であった。1つの授業の履修者数は、実習やキャリアガイダンスを除くと、平均 37.7 名、最大 110 名、最小 1 名となっている。

【アンケート結果の分析】

1. 過去 3 年分の比較と変化の要因

2021 年度から 2023 年度後期の 3 ヶ年の変化を比較すると、大きな特徴として、2021 年度と 2022 年度では多くのアンケート結果が横ばい、もしくは微減の変化があったのに対し、2023 年度では項目 4 から最後の項目 20 までの 16 項目で、顕著に増加傾向が見られる。特に「発見や感動などがあり、興味を持てる授業でしたか」「教員と学生の間やりとりがあるなど、授業に活気がある」の 2 項目では、最もよくできたと評価した学生の割合で、前年度と比べ 5 ポイント以上向上していた。また、「授業の準備」「教員の熱意」「公平な態度」「教材」など多くの項目でも顕著な向上が見られた。

これらの背景として、いくつかの因子別に比較を行うと、最も大きな差が見られたものは、「勤務年数別」及び「職階別」の比較であった。勤務年数が短いほど、また職階が低いほど、授業評価が高い傾向にある。ここから近年採用された若手教員の授業が評価されていることが、結果向上の一因となっていることが伺える。同時にコロナ禍が明け、コロナ禍で培った ICT 等のノウハウを取り入れながら、コロナ以前に行えていた活動もできるようになり、授業の幅が広がったことも要因として考えられる。

一方で、「予習や復習」を十分にしなかった学生の割合が高まっていた。コロナ禍において課題が比較的多い時期にはそれを予習・復習と捉えていた可能性も考えられるが、授業時間外の学習に関して、状況を把握する必要があるかもしれない。

2. 学生コメントの活用（評価の高かった授業法の共有）

2023 年度より、アンケート結果の全体的傾向だけでなく、学生が記載した自由記述も、

授業改善のために共有することとなった。そこで、ここではそれらのコメントを整理し提示する。

(1) 視聴覚映像に関して

整理されたパワーポイントや、教員が実際に撮影・編集した授業動画など視聴覚映像を効果的に使っている授業に対し、好意的なコメントが多かった。一方で、スライドを送るスピードや情報量が多寡な点等へのコメントも見られた

(2) グループワークに関して

学生が主体的に学べる環境を作り出している授業に対して、好意的なコメントが多かった。具体的には、グループのメンバーを教員が決め、またそのメンバーは定期的に変更する手法が、多様な意見を聞ける点、グループが固定化しない点、そして人間関係の幅が広がる点など、さまざまな側面から評価されていた。安心して意見を出し合える雰囲気が作られている授業、フリーライダーを出さないような工夫がされている活動に関しても言及があった。

(3) 振り返りの方法に関して

振り返りが理解を深める助けになるといった好意的なコメントが多数見られた。

具体的なコメントとして以下のようなものがあった

- ・小テストが何回かあり、自分の理解の状況を把握できた
- ・レポートに対し、しっかりとフィードバックがあり、書く意義を感じられた
- ・毎回良い振り返りレポートを紹介してくれることで、振り返り方を学べた
- ・授業で配布した教材や授業動画を Teams に入れていたくれたため、振り返りがしやすかった
- ・振り返る時間が確保されており、しっかりと考えることができた

一方、振り返りレポートの提出を求められるものの、振り返る時間が確保されていない授業、振り返りレポートの返却がない授業に関しては、改善を求めるものも見られた

その他、学生のコメントの中には様々な授業改善につながるものがあった。それらは、FD研修会をはじめとする様々な場所で活用し、授業改善を図っていくものである。

令和6年7月23日
FD・SD委員会

■ 授業評価（全体（前期・後期）結果 2021～2023年度比較）

2021年度_2022年度_2023年度 前期実施

「学生による授業評価アンケート」集計結果（実施全科目分）比較表

質問項目		年度	各選択肢の回答率(%)					度数	平均値	
			0	1	2	3	4			5
(1)	あなたは授業を何回欠席（公欠も含む）しましたか。	2021	76.2	13.6	5.9	3.1	1.3		7,778	0.4
		2022	72.4	17.1	5.8	3.3	1.3		7,284	0.4
		2023	69.2	19.7	6.9	2.7	1.4		6,127	0.5
(2)	あなたは『講義要項』（シラバス）をよく読みましたか。	2021		2.7	17.6	21.7	45.5	12.5	7,778	3.5
		2022		4.0	17.9	26.7	39.6	11.7	7,284	3.4
		2023		5.6	16.5	23.7	42.0	12.1	6,127	3.4
(3)	あなたは予習や復習を十分にしましたか。	2021		3.5	14.9	28.5	38.6	14.5	7,778	3.5
		2022		3.6	16.4	31.2	34.8	14.0	7,284	3.4
		2023		5.9	17.0	29.7	33.5	14.0	6,127	3.3
(4)	あなたは授業の内容を理解することができましたか。	2021		0.5	3.4	12.9	55.7	27.6	7,778	4.1
		2022		0.5	3.0	13.5	56.2	26.8	7,284	4.1
		2023		0.3	3.1	13.1	56.6	26.9	6,127	4.1
(5)	あなたの受講態度を1～5の5段階で評価してください。	2021		0.1	0.9	14.5	45.4	39.0	7,778	4.2
		2022		0.1	0.8	14.8	44.2	40.2	7,284	4.2
		2023		0.1	0.9	13.6	45.1	40.3	6,127	4.2
(6)	授業は『講義要項』に沿って行なわれましたか。	2021		0.1	0.7	9.2	51.3	38.6	7,778	4.3
		2022		0.2	0.7	21.1	49.9	28.1	7,284	4.1
		2023		0.1	0.7	17.6	52.2	29.4	6,127	4.1
(7)	授業はよく準備されていましたか。	2021		0.1	0.8	6.0	44.0	49.1	7,778	4.4
		2022		0.2	0.7	6.4	44.9	47.8	7,284	4.4
		2023		0.0	0.6	5.2	45.1	49.1	6,127	4.4
(8)	毎回の授業の目標は明確になっていましたか。	2021		0.2	1.2	7.9	46.5	44.2	7,778	4.3
		2022		0.3	1.0	9.2	46.6	42.9	7,284	4.3
		2023		0.2	0.9	6.9	47.2	44.8	6,127	4.4
(9)	教員の説明は分かりやすかったですか。	2021		0.9	2.5	10.4	42.9	43.3	7,778	4.3
		2022		0.7	2.0	10.1	44.4	42.8	7,284	4.3
		2023		0.3	1.8	8.8	44.6	44.5	6,127	4.3
(10)	発見や感動などがあり、興味を持てる授業でしたか。	2021		0.6	2.1	11.0	44.4	41.9	7,778	4.2
		2022		0.6	1.9	11.0	44.6	41.9	7,284	4.3
		2023		0.2	1.7	9.8	46.5	41.7	6,127	4.3

「学生による授業評価アンケート」集計結果（実施全科目分）比較表

質問項目		年度	各選択肢の回答率(%)					度数	平均値	
			0	1	2	3	4			5
(11)	教員と学生の間にやりとりがあるなど、授業に活気がありましたか。	2021		0.6	2.7	15.3	43.1	38.3	7,778	4.2
		2022		0.7	3.0	15.7	44.1	36.5	7,284	4.1
		2023		0.8	3.9	14.9	42.9	37.6	6,127	4.1
(12)	教員の声は十分に大きく、明瞭な話し方でしたか。	2021		0.6	1.9	7.2	41.6	48.8	7,778	4.4
		2022		0.9	2.0	6.6	41.3	49.2	7,284	4.4
		2023		0.3	1.3	7.0	40.4	51.0	6,127	4.4
(13)	板書の仕方、パワーポイントの表示の仕方、プリントの用い方は適切でしたか。	2021		0.5	1.7	8.0	44.6	45.2	7,778	4.3
		2022		0.5	1.2	8.4	44.0	45.9	7,284	4.3
		2023		0.2	0.9	7.1	45.2	46.7	6,127	4.4
(14)	始業・終業時間を含め、時間配分は適切でしたか。	2021		0.3	1.5	7.7	45.1	45.4	7,778	4.3
		2022		0.5	1.6	9.0	45.0	43.9	7,284	4.3
		2023		0.3	1.7	8.1	44.6	45.3	6,127	4.3
(15)	教員の熱意を感じましたか。	2021		0.2	0.6	6.5	44.9	47.9	7,778	4.4
		2022		0.3	0.7	6.9	43.7	48.4	7,284	4.4
		2023		0.2	0.7	6.2	43.4	49.5	6,127	4.4
(16)	教員は、学生に公平に接していましたか。	2021		0.2	0.6	5.9	45.2	48.1	7,778	4.4
		2022		0.4	0.9	6.7	44.8	47.2	7,284	4.4
		2023		0.2	0.7	5.9	44.0	49.2	6,127	4.4
(17)	テキスト、ビデオ、プリント資料などの教材は理解の助けになりましたか。	2021		0.3	0.8	6.0	44.0	48.9	7,778	4.4
		2022		0.3	0.6	6.8	43.1	49.2	7,284	4.4
		2023		0.2	0.5	5.9	43.3	50.2	6,127	4.4
(18)	この授業にとって、教室の環境、設備などは適切でしたか。	2021		0.2	0.5	5.7	47.8	45.8	7,778	4.4
		2022		0.2	0.6	6.7	46.1	46.3	7,284	4.4
		2023		0.1	0.6	5.5	46.2	47.7	6,127	4.4
(19)	この授業を総合的に1～5の5段階で評価してください。	2021		0.3	1.1	8.9	36.8	52.9	7,778	4.4
		2022		0.4	1.2	8.9	35.6	54.0	7,284	4.4
		2023		0.1	0.9	6.6	34.3	58.1	6,127	4.5
(20)	この授業の主要な到達目標について、自分の達成度を1～5の5段階で評価してください。	2021		0.3	2.1	14.4	58.7	24.5	7,778	4.0
		2022		0.3	1.8	17.4	56.8	23.7	7,284	4.0
		2023		0.1	1.9	14.1	57.4	26.6	6,127	4.1

質問項目		年度	各選択肢の回答率(%)					度数	平均値	
			0	1	2	3	4			5
(24)	助手の説明は分かりやすかったですか。【対象授業※のみ】	2022		0.6	0.6	10.0	37.2	51.6	341	4.4
		2023		0.0	0.6	10.4	37.3	51.6	335	4.4
(25)	助手と学生の間により取りがあるなど、授業に活気がありましたか。【対象授業※のみ】	2022		0.0	0.3	9.5	33.8	56.4	328	4.5
		2023		0.3	0.6	8.3	38.3	52.5	324	4.4
(26)	助手の声は十分に大きく、明瞭な話し方でしたか。【対象授業※のみ】	2022		0.0	1.2	8.3	31.2	59.3	327	4.5
		2023		0.7	0.0	8.5	32.7	58.1	272	4.5
(27)	助手の熱意を感じましたか。【対象授業※のみ】	2022		0.6	0.6	8.8	35.9	54.1	329	4.4
		2023		0.8	0.0	6.4	34.0	58.9	265	4.5
(28)	助手は、学生に公平に接していましたか。【対象授業※のみ】	2022		0.6	0.3	7.7	34.3	57.1	324	4.5
		2023		0.6	0.3	9.0	35.0	55.0	311	4.4
(29)	授業が時間内に終わるよう、助手・副手は教員と適切に連携を取っていましたか。【対象授業※のみ】	2022								
		2023		0.0	0.0	11.0	37.1	51.9	310	4.4

質問項目		年度	各選択肢の回答率(%)					度数	平均値	
			0	1	2	3	4			5
(1)	あなたは授業を何回欠席(公欠も含む)しましたか。	2021	64.8	17.5	10.5	5.2	2.0		6,582	0.6
		2022	63.4	20.9	10.0	4.2	1.5		6,325	0.6
		2023	60.2	21.8	11.3	4.7	2.1		6,136	0.7
(2)	あなたは『講義要項』(シラバス)をよく読みましたか。	2021		2.9	12.6	25.0	43.5	16.0	6,582	3.6
		2022		6.4	16.3	25.9	37.1	14.3	6,325	3.4
		2023		5.1	19.1	24.3	38.4	13.0	6,136	3.4
(3)	あなたは予習や復習を十分にしましたか。	2021		2.6	10.6	28.6	39.3	19.0	6,582	3.6
		2022		4.7	13.1	29.2	36.1	16.8	6,325	3.5
		2023		4.6	15.7	26.9	36.2	16.6	6,136	3.4
(4)	あなたは授業の内容を理解することができましたか。	2021		0.4	3.0	11.7	54.6	30.2	6,582	4.1
		2022		0.5	2.3	12.6	56.3	28.3	6,325	4.1
		2023		0.4	1.8	11.9	54.9	31.1	6,136	4.1
(5)	あなたの受講態度を1～5の5段階で評価してください。	2021		0.2	0.8	13.9	45.0	40.1	6,582	4.2
		2022		0.2	0.8	13.2	46.1	39.8	6,325	4.2
		2023		0.2	0.8	12.1	44.5	42.4	6,136	4.3
(6)	授業は『講義要項』に沿って行なわれましたか。	2021		0.1	0.7	8.8	48.9	41.5	6,582	4.3
		2022		0.2	0.6	18.8	48.5	31.9	6,325	4.1
		2023		0.2	0.4	16.2	48.4	34.8	6,136	4.2
(7)	授業はよく準備されていましたか。	2021		0.2	1.0	6.8	42.4	49.7	6,582	4.4
		2022		0.2	0.9	6.8	45.5	46.6	6,325	4.4
		2023		0.3	0.6	5.6	43.3	50.3	6,136	4.4
(8)	毎回の授業の目標は明確になっていましたか。	2021		0.2	1.3	8.2	44.3	46.0	6,582	4.3
		2022		0.2	0.8	8.8	46.0	44.1	6,325	4.3
		2023		0.3	0.8	7.2	43.9	47.8	6,136	4.4
(9)	教員の説明は分かりやすかったですか。	2021		0.8	2.7	9.5	43.1	43.9	6,582	4.3
		2022		0.5	1.8	10.7	44.3	42.7	6,325	4.3
		2023		0.5	1.4	8.5	43.2	46.4	6,136	4.3
(10)	発見や感動などがあり、興味の持てる授業でしたか。	2021		0.4	2.2	9.9	43.7	43.8	6,582	4.3
		2022		0.4	1.1	11.1	45.4	42.0	6,325	4.3
		2023		0.4	1.2	8.1	43.1	47.2	6,136	4.4

「学生による授業評価アンケート」集計結果（実施全科目分）比較表

質問項目		年度	各選択肢の回答率(%)					度数	平均値	
			0	1	2	3	4			5
(11)	教員と学生の間にやりとりがあるなど、授業に活気がありましたか。	2021		0.6	3.1	12.7	43.8	39.8	6,582	4.2
		2022		0.7	2.3	13.6	43.7	39.7	6,325	4.2
		2023		0.7	2.0	11.1	41.8	44.5	6,136	4.3
(12)	教員の声は十分に大きく、明瞭な話し方でしたか。	2021		0.6	1.9	6.7	41.7	49.0	6,582	4.4
		2022		0.6	1.6	7.6	41.8	48.5	6,325	4.4
		2023		0.5	0.9	6.2	40.8	51.5	6,136	4.4
(13)	板書の仕方、パワーポイントの表示の仕方、プリントの用い方は適切でしたか。	2021		0.4	1.6	8.7	43.5	45.8	6,582	4.3
		2022		0.4	1.1	8.7	44.9	44.9	6,325	4.3
		2023		0.4	1.0	7.6	43.2	47.8	6,136	4.4
(14)	始業・終業時間を含め、時間配分は適切でしたか。	2021		0.6	1.9	7.8	44.4	45.3	6,582	4.3
		2022		0.6	1.7	8.2	45.9	43.6	6,325	4.3
		2023		0.7	1.5	6.8	43.3	47.8	6,136	4.4
(15)	教員の熱意を感じましたか。	2021		0.3	0.7	6.8	42.8	49.3	6,582	4.4
		2022		0.3	0.8	7.8	43.6	47.5	6,325	4.4
		2023		0.3	0.6	5.7	41.7	51.7	6,136	4.4
(16)	教員は、学生に公平に接していましたか。	2021		0.5	0.6	6.4	45.2	47.3	6,582	4.4
		2022		0.5	0.8	7.3	44.8	46.5	6,325	4.4
		2023		0.5	0.7	5.6	42.0	51.2	6,136	4.4
(17)	テキスト、ビデオ、プリント資料などの教材は理解の助けになりましたか。	2021		0.3	0.9	7.3	42.6	48.9	6,582	4.4
		2022		0.3	0.6	7.8	44.0	47.4	6,325	4.4
		2023		0.3	0.5	6.2	41.7	51.2	6,136	4.4
(18)	この授業にとって、教室の環境、設備などは適切でしたか。	2021		0.1	0.5	5.8	46.1	47.5	6,582	4.4
		2022		0.2	0.6	7.3	46.2	45.7	6,325	4.4
		2023		0.1	0.3	5.3	45.3	48.9	6,136	4.4
(19)	この授業を総合的に1～5の5段階で評価してください。	2021		0.3	1.2	8.4	38.3	51.8	6,582	4.4
		2022		0.3	0.7	8.9	37.7	52.3	6,325	4.4
		2023		0.3	0.8	6.2	34.5	58.1	6,136	4.5
(20)	この授業の主要な到達目標について、自分の達成度を1～5の5段階で評価してください。	2021		0.3	1.5	13.4	57.3	27.5	6,582	4.1
		2022		0.3	1.4	13.7	58.2	26.5	6,325	4.1
		2023		0.3	1.0	11.4	55.3	32.0	6,136	4.2

質問項目		年度	各選択肢の回答率(%)					度数	平均値	
			0	1	2	3	4			5
(24)	助手の説明は分かりやすかったですか。【対象授業※のみ】	2022		0.7	0.8	9.9	44.6	44.0	734	4.3
		2023		0.2	0.2	7.9	37.6	54.1	492	4.5
(25)	助手と学生の間により取りがあるなど、授業に活気がありましたか。【対象授業※のみ】	2022		0.6	1.3	12.1	44.2	41.9	718	4.3
		2023		0.6	0.2	5.8	37.3	56.1	483	4.5
(26)	助手の声は十分に大きく、明瞭な話し方でしたか。【対象授業※のみ】	2022		0.7	0.8	10.4	43.2	44.9	720	4.3
		2023		0.2	0.0	8.0	35.8	56.0	439	4.5
(27)	助手の熱意を感じましたか。【対象授業※のみ】	2022		1.1	1.0	11.0	43.3	43.7	721	4.3
		2023		0.2	0.0	9.8	37.8	52.2	439	4.4
(28)	助手は、学生に公平に接していましたか。【対象授業※のみ】	2022		0.4	0.1	8.6	45.0	45.8	720	4.4
		2023		0.8	0.0	5.9	38.2	55.1	474	4.5
(29)	授業が時間内に終わるよう、助手・副手は教員と適切に連携を取っていましたか。【対象授業※のみ】	2022								
		2023		0.6	0.2	6.4	40.9	51.8	469	4.4

■ 授業評価（2023年度：学科別「学習の達成度自己評価」）

2023年度学習の達成度自己評価（全学科一般教養）

一般教養科目DP

- ①主体的に学び、多様な考え方に触れ、柔軟な思考ができる。
- ②自己を高めるとともに、他者との関わりを良好に保つことができる。
- ③地域への関心を深め、地域活性化の担い手として課題解決に意欲的に取り組む。
- ④社会や文化に対して関心を持ち、広い視野に立って、社会に参画する力を持つ。

2023年度入学1年生（前期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	20	234	4.2	0	0.0%	4	1.7%	23	9.8%	130	55.6%	77	32.9%
②	20	347	4.1	0	0.0%	6	1.7%	43	12.4%	196	56.5%	102	29.4%
③	1	77	4.1	0	0.0%	0	0.0%	15	19.5%	39	50.6%	23	29.9%
④	22	214	4.0	0	0.0%	2	0.9%	37	17.3%	138	64.5%	37	17.3%

2023年度入学1年生（後期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	17	169	4.3	0	0.0%	0	0.0%	17	10.1%	89	52.7%	63	37.3%
②	22	315	7.2	3	1.0%	3	1.0%	26	8.3%	172	54.6%	111	35.2%
③	0	0	0.0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④	28	316	4.2	0	0.0%	2	0.6%	45	14.2%	163	51.6%	106	33.5%

2022年度入学2年生（前期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	1	1	4.0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%
②	7	111	4.3	0	0.0%	0	0.0%	11	9.9%	58	52.3%	42	37.8%
③	3	20	4.3	0	0.0%	0	0.0%	3	15.0%	9	45.0%	8	40.0%
④	1	1	3.0	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%

2022年度入学2年生（後期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	3	4	4.0	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	2	50.0%	1	25.0%
②	4	151	4.4	0	0.0%	1	0.7%	11	7.3%	66	43.7%	73	48.3%
③	2	98	4.3	0	0.0%	0	0.0%	8	8.2%	52	53.1%	38	38.8%
④	4	8	4.1	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	5	62.5%	2	25.0%

2023年度学習の達成度自己評価（児童教育学科）

児童教育学科DP

- ①（教育・保育に必要な専門性）教育・保育に必要な専門的な指導力を習得するとともに、それらを活用・実践する力を有する。
- ②（課題解決能力）教育・保育の課題解決に必要な思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力・人間関係調整能力等を有し、現場で実践できる。
- ③（豊かな人間性）教育的な情熱や使命感・倫理観をもち、社会の変化に対応しながら、理想の教育・保育を目指して探究し向上しようとする態度を有している。

2023年度入学1年生（前期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	12	1037	4.0	0	0.0%	28	2.7%	170	16.4%	596	57.5%	243	23.4%
②	0	0	0.0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③	5	509	4.0	0	0.0%	16	3.1%	89	17.5%	269	52.8%	135	26.5%

2023年度入学1年生（後期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	14	1170	5.2	1	0.1%	7	0.6%	119	10.2%	654	55.9%	389	33.2%
②	4	428	6.3	2	0.5%	1	0.2%	33	7.7%	200	46.7%	192	44.9%
③	3	331	5.2	1	0.3%	2	0.6%	39	11.8%	177	53.5%	112	33.8%

2022年度入学2年生（前期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	22	1076	4.1	0	0.0%	4	0.4%	135	12.5%	663	61.6%	274	25.5%
②	10	264	4.3	0	0.0%	1	0.4%	21	8.0%	133	50.4%	109	41.3%
③	3	90	5.9	2	2.2%	0	0.0%	20	22.2%	46	51.1%	22	24.4%

2022年度入学2年生（後期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	30	781	4.2	0	0.0%	2	0.3%	69	8.8%	462	59.2%	248	31.8%
②	7	123	4.2	0	0.0%	0	0.0%	12	9.8%	69	56.1%	42	34.1%
③	6	148	5.1	1	0.7%	1	0.7%	22	14.9%	84	56.8%	40	27.0%

2023年度学習の達成度自己評価（生活科学科：生活福祉専攻）

生活科学科生活福祉専攻DP

- ①（専門的知識・技能）介護福祉及び医療・福祉事務に関する実践的かつ体系的な専門的知識と技能を修得している。
- ②（主体的・創造的な課題解決能力）修得した専門的知識と技能を活かして、地域社会の実態を踏まえ、主体的・創造的に貢献する能力と意識をもっている。
- ③（人間関係形成力とコミュニケーション能力）倫理観と責任感をもち、コミュニケーション能力と協働性を有し、多様な問題に臨む社会人としての態度を身につけている。

2023年度入学1年生（前期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	11	92	3.9	0	0.0%	2	2.2%	19	20.7%	57	62.0%	14	15.2%
②	2	11	4.1	0	0.0%	0	0.0%	2	18.2%	6	54.5%	3	27.3%
③	0	0	0.0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

2023年度入学1年生（後期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	13	97	4.7	1	1.0%	2	2.1%	24	24.7%	66	68.0%	4	4.1%
②	4	32	3.9	0	0.0%	0	0.0%	7	21.9%	22	68.8%	3	9.4%
③	1	9	3.9	0	0.0%	0	0.0%	2	22.2%	6	66.7%	1	11.1%

2022年度入学2年生（前期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	8	40	4.0	0	0.0%	3	7.5%	9	22.5%	14	35.0%	14	35.0%
②	6	27	4.1	0	0.0%	0	0.0%	6	22.2%	13	48.1%	8	29.6%
③	1	5	4.2	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	2	40.0%	2	40.0%

2022年度入学2年生（後期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	8	37	4.1	0	0.0%	1	2.7%	5	13.5%	20	54.1%	11	29.7%
②	5	25	5.1	1	4.0%	2	8.0%	0	0.0%	12	48.0%	10	40.0%
③	2	10	4.3	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	70.0%	3	30.0%

生活科学科食物栄養学専攻DP

- ①（食物・栄養に必要な専門性）健康の基盤となる食物と栄養に関する専門的な知識と技能を修得し、時代と社会の要請に応える力を有する。
- ②（課題解決能力）修得した食に関する知識と技能を活かし、地域や現代社会の食に関わる身近な課題を見出し、それを解決に導くために求められる能力を有する。
- ③（豊かな人間性）食に関する幅広い知識・興味・関心に基づき、人が健全な食生活を送るために、他者と目的を共有し、協働できるように自らを高めることができる。

2023年度入学1年生（前期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	12	418	5.9	2	0.5%	22	5.3%	80	19.1%	216	51.7%	98	23.4%
②	1	33	4.0	0	0.0%	2	6.1%	4	12.1%	18	54.5%	9	27.3%
③	3	13	4.1	0	0.0%	1	7.7%	1	7.7%	7	53.8%	4	30.8%

2023年度入学1年生（後期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	10	307	4.1	0	0.0%	6	2.0%	54	17.6%	159	51.8%	88	28.7%
②	3	105	4.3	0	0.0%	1	1.0%	13	12.4%	49	46.7%	42	40.0%
③	2	3	4.3	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	1	33.3%

2022年度入学2年生（前期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	7	124	4.2	0	0.0%	4	3.2%	17	13.7%	56	45.2%	47	37.9%
②	6	72	4.2	0	0.0%	1	1.4%	10	13.9%	33	45.8%	28	38.9%
③	5	40	4.5	0	0.0%	0	0.0%	1	2.5%	18	45.0%	21	52.5%

2022年度入学2年生（後期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	11	143	4.1	0	0.0%	2	1.4%	24	16.8%	71	49.7%	46	32.2%
②	2	63	5.8	2	3.2%	1	1.6%	17	27.0%	31	49.2%	12	19.0%
③	4	40	4.3	0	0.0%	0	0.0%	5	12.5%	18	45.0%	17	42.5%

2023年度学習の達成度自己評価（教養学科）

教養学科DP

- ①（専門的知識や技能）現代社会に求められる知識及び技能を活用する実践力と、情報を収集・分析・発信する情報活用能力を身につけている。
- ②（コミュニケーション能力）他者に共感し、コミュニケーションスキルを活かして行動する能力を身につけている。
- ③（地域・グローバル社会への理解）地域社会とグローバル社会への深い理解のうえに、広い視野に立った社会性を身につけている。

2023年度入学1年生（前期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	11	505	6.0	2	0.4%	9	1.8%	54	10.7%	367	72.7%	73	14.5%
②	2	88	4.0	0	0.0%	1	1.1%	9	10.2%	64	72.7%	14	15.9%
③	0	0	0.0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

2023年度入学1年生（後期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	13	369	6.0	2	0.5%	9	2.4%	37	10.0%	252	68.3%	69	18.7%
②	4	189	4.0	0	0.0%	4	2.1%	21	11.1%	133	70.4%	31	16.4%
③	1	40	3.9	0	0.0%	3	7.5%	6	15.0%	24	60.0%	7	17.5%

2022年度入学2年生（前期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	17	259	4.2	0	0.0%	3	1.2%	29	11.2%	146	56.4%	81	31.3%
②	3	87	4.2	0	0.0%	0	0.0%	7	8.0%	53	60.9%	27	31.0%
③	6	190	5.2	1	0.5%	2	1.1%	22	11.6%	104	54.7%	61	32.1%

2022年度入学2年生（後期）

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	14	285	7.1	3	1.1%	7	2.5%	40	14.0%	140	49.1%	95	33.3%
②	5	134	4.2	0	0.0%	1	0.7%	12	9.0%	76	56.7%	45	33.6%
③	7	144	5.0	1	0.7%	5	3.5%	22	15.3%	73	50.7%	43	29.9%

2023 年度授業評価 (学生カルテ 2023 年度 2 年生分)

2023 年度授業評価 (2 年)				Q1. 欠席回数					Q2. 講義要領					Q3. 予習・復習					Q4. 授業内容理解					Q5. 授業態度					Q20. 達成度 (自己評価)								
学籍番号	学生氏名	科目番号	科目名	①欠席なし	②1回	③2回	④3回	⑤4回以上	①全く読んでいない	②あまり読んでいない	③どちらともいえない	④おおむね読んだ	⑤十分に読んだ	①全くしていない	②あまりしていない	③どちらともいえない	④おおむねやった	⑤十分にやった	①全くできていない	②あまりできていない	③どちらともいえない	④おおむねできた	⑤十分にできた	①悪い	②どちらかというが悪い	③どちらともいえない	④どちらかというが良い	⑤良い	①ほとんど達成できなかった	②あまり達成できなかった	③どちらともいえない	④おおむね達成できた	⑤十分達成できた				
				■■■■	■■■■	1101	教育課程・保育計画の 意義と編成・評価				○					○											○										
		1103	保育内容 (健康) の指 導法		○							○											○												○		
		1114	教育相談				○					○											○												○		
		1117	子どもの食と栄養			○						○											○													○	
		1125	幼児と人間関係		○							○											○													○	
		1126	体育講義		○							○											○													○	
		1131	社会的養護 II			○						○											○													○	
		1136	幼児と環境		○							○											○													○	
		1147	子ども家庭支援論			○						○											○													○	
		2008	保育所実習 I 指導	○								○											○													○	
		2103	子ども家庭支援の心理 学				○					○											○													○	
		2118	保育内容 (人間関係) の指導法			○						○											○													○	
		2121	体育実技				○					○				○							○													○	
		2125	幼児理解				○					○					○						○													○	
		2126	保育内容総論				○					○											○													○	

2. 授業公開

■授業公開について「お知らせ」

令和5年11月2日

教員各位

FD・SD委員長 村若 修

お知らせとお願い

今年度も、下記で予定で授業公開期間を設けます。他の教員の授業から得られるもの、他の教員からの感想やアドバイスから得られるものは少なからずあると思います。また、より多くの教員が参加することで、授業改善に関する教員間のディスカッションの活性化や情報の共有・蓄積にもつながります。授業公開へのご理解・ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

つきましては、教員メールボックス脇に用意した「後期時間割」に、実施予定の授業で公開を不可とする授業の部分のみ×印をつけていただくようお願いします。（一般教養科目等の同時開講科目は、お名前の部分に印の記入をお願いします。）

なお、授業参観の再は、実習その他による休講等があるため、事前に授業担当者へ参観希望である旨をお伝えいただければ幸いです。また、参観は、原則、授業開始時から終了時までとしますが、都合による中途参観や退出も可とします。

参観後は、「公開授業報告書」作成のため、**12月26日（火）**までに、サイボウズと全教職員メールでお知らせするURLから、感想等をオンラインでご回答ください。

記

令和5年度授業公開期間 11月27日（月）～12月22日（金）

【概要】

- ①上記の期間中に授業の参観ができます。90分間に複数の授業を参観していただいても構いません。
- ②期間中は、「授業公開期間時間割」に条件が明示されていない限り、授業担当者の許可なく入退室できます。

【参観後】

- ①参観者は感想等をオンラインでご回答ください（公開授業報告書）。
- ②報告書は1授業につき1件の回答となります。
- ③報告書は取りまとめ次第公開いたします。

以上

2023年度「授業公開週間」参観記録（11-12月実施）



フォームの説明

* 必須

* このフォームでは名前の記録を行います、名前を入力してください。



1. 記入者（所属） *

1. 児童教育学科
2. 生活科学科
3. 教養学科
4. 非常勤講師
5. 事務職員
6. その他

2. 参観科目名 *

3. 参観科目の当日担当者名 *

4. (6) 参観日 *

5. (8) 参観時間 *

a. 1・2限目

b. 3・4限目

c. 5・6限目

d. 7・8限目

e. 9・10限目

6. (9) 参観授業についての感想 *

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms

2023年度 授業公開週間について（報告）

○実施期間

2023年11月27日（月）～12月22日（金）

○参観報告書提出者数

学科	人数	備考
児童教育学科	15	4科目参観1名
生活科学科	7	
教養学科	7	2科目参観2名
合計	29	総提出数34名

○参観科目一覧<（ ）は参観者人数>

日本語表現法Ⅱ（3）	子育て支援（3）	公共人類学（3）
介護総合演習Ⅳ（2）	AI社会論（2）	臨床人間学（1）
幼児理解（1）	保育内容（表現）の指導法（1）	保育内容（人間関係）の指導法（1）
道德教育の指導法（1）	数学基礎（1）	図画工作科指導法（1）
子どもと造形Ⅱ（1）	子どもと音楽Ⅳ（1）	子どもと音楽Ⅱ（1）
給食管理実習Ⅱ（1）	給食管理（1）	絵本士講座：心に寄り添う絵本 （心のケアと絵本の可能性）（1）
介護過程Ⅳ（1）	音楽科指導法（1）	栄養指導論Ⅱ（1）
ライフデザイン論Ⅱ（1）	プログラミング（1）	ビジネス英語（1）
ビジネスワーク（1）	データサイエンス概論（1）	

○評価と展望

授業公開期間中に授業参観し、報告書を提出した教員の割合は、全体では66%（児教71%、生活55%、教養67%）であり、一昨年度の8割を下回り、昨年度とほぼ同じ結果となった。参観の目的意識を高め、FD活動として有意義なものとするには、例えば、一つの授業を複数教員で参観し、授業者も含めてディスカッションするといった方法をとっても良いのではないか。今後の課題としたい。もっとも、参観報告を読めば、参観する側にとってもされる側にとっても、双方に得るものがあることは疑いない。授業公開自体はFD活動として重要であり、今後の継続が望まれる。

内訳をみると、一般教養科目の参観7件、認定絵本士養成講座科目1件、他学科開設授業の参観2件で、残り22件は同一学科・専攻の授業参観であった（児教11件、福祉3件、食栄1件、教養7件）。一般教養科目では、岩切先生担当の公共人類学とともに、根本先生担当の新設2科目への参観も多かった。FDの視点を措いても、全学的な取組としての「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に関わる科目については、すべての教員に関心を持っていただきたいところである。

次年度から学生は自分のノートパソコンで授業に出席することになるため、教員はそれぞれの授業の目的に即して、学生のノートパソコンを活用することが可能になる。今年度末のFD研修も含め、今後はそのような活用方法を共有したりサポートしたりする体制を築く必要があろう。授業公開がその体制作りに一役買ってあげればと思う。

3. ティーチング・ポートフォリオ

ティーチング・ポートフォリオ (TP) とは

ティーチング・ポートフォリオ (TP) とは、教員が行なっている教育に関する取り組みを省察することを通し、自らの教育理念を明確にし、今後の授業改善への取り組みに役立てることを目的とし、作成するものです。 TP は次の5つから構成されます。

- ・責任：(担当する教育活動とその位置づけ)
教育内容の具体的事実を記述します。担当授業の内容のほか、サークルの顧問、担任、非常勤講師等、自身が教育活動とみなせるものを含みます。
- ・理念：(教育活動の基礎または背景にある教育観)
自分の行動原理となる重要な信念や姿勢を記述します。いかなる背景のもと、どのような学生を育てたいか、教員としてどうありたいか、担当教科の(学問として、また専門科目としてといった)あり方をどのように考えているか、さらには何のために教えているのかなど、自身の教育観を明示化する箇所となります。
- ・方法：(理念を実現するための具体的な教育方法)
教育の理念を実現させるための方針や具体的な方法を記述します。実際に行なっている授業実践を記述する他、教育の評価法、学生への接し方、授業準備のあり方など、具体的な実施事項を表す場所となります。
- ・成果：(教育活動の結果として現れた学習成果)
教育活動をおこなった結果としての学生の成長や成果、また学生・第三者からの評価を記述します。授業評価アンケートや授業前後での学生の能力向上の証拠、実習の成績や就職などが具体的成果として挙げられます。
- ・目標：(理念、方法、成果を省察した上での、今後の教育目標)
教育の方法と成果を省察し、理念の実現に向けた今後の展望を記述します。その際、短期目標(来期、来年度の目標)、長期目標(数年単位で改善したい項目)を区別するより目標を明確に定めることができます。

今回のWSでは、「責任」「理念」「方法」3項目を事前に記述し、特に理念とそれを実現するための方法について意見交換を行います。その後、・・・までに「成果」「目標」を含めたTPの完成を目指します。以下、例として今村先生の作成された試案を示します。

■ ティーチング・ポートフォリオ 報告書

FD・SD 委員会報告

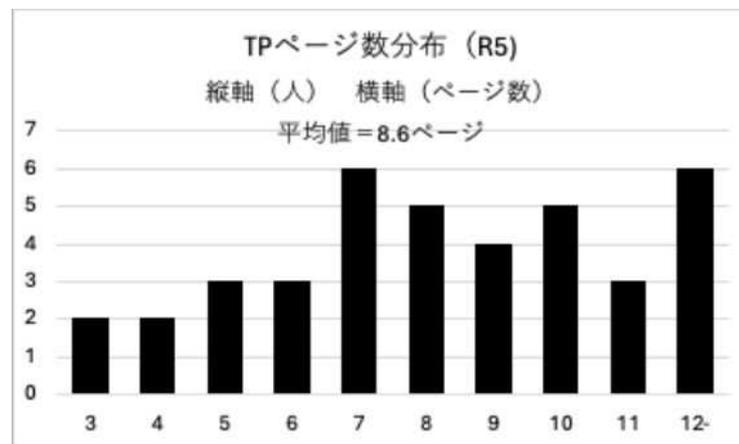
令和5年度ティーチングポートフォリオ結果及び令和6年度作成について

FD・SD 委員会

令和5年度より開始されたティーチングポートフォリオ(以下 TP)については、おかげさまで全員の提出がありました。改めて資料作成についてお礼申し上げます。

1 作成ページ数について(タイトル、目次、資料などのページは除く)

- ・ 3~12 ページ(最大値 16 ページ)の分布(平均 8.6 ページ):図参照
- ・ ページ数が少ないから内容が乏しいという訳ではありません。



2 記載項目について

- ・ 令和5年度は、「責務」、「担当科目」、「理念」、「方法」、「成果(試験、学生評価アンケート)」、「今後の目標」などについて記載していただくよう依頼
- ・ 全ての項目について記載されていない先生がおられます。

3 記載内容について

- ・ 内容についてのコメントは控えさせていただきます。
- ・ 「表紙」や「目次」のページのある先生、ない先生がおられます。
- ・ 文章が「です。ます。」調と「である。」調の両方がみられます。

4 令和6年度作成について

- ・ 基本的には、令和5年度作成いただいた内容をベースにして、令和6年度分を追加し、5年度との比較検討などを行なっていただきたいと考えております。
- ・ 「表紙」や「目次」のページは、つける方向で調整願います。
- ・ 文章は、多くの先生方が「である」調のため、こちらに統一いただく方向で修正願います。
- ・ 評価の分布について、新規に追加していただけますようご協力をお願いします。
(秀・優・良・可・不可の割合について、科目毎に集計し記載をお願いします。)

4.FD・SD研修会

<FD・SD研修会内容>

<p>・2023年度第1回FD・SD研修会 テーマ「ティーチングポートフォリオの作成に関して」 2023年8月10日（木） 13:30-16:00（本館402号室他） 担 当：FD・SD委員</p>	参加者：本学全教職員
<p>・2023年度第2回FD・SD研修会 2024年3月7日（木） 14:30-16:10（本館402号室） テーマ「最新のICT教育展開（小・中・高校の事例から）」（本館402号室） 講師：児童教育学科 渡邊光浩 准教授 第2部 テーマ「ICTを活用した授業実践の事例」（本館402号室） 講師：教養学科 倉重加代 教授</p>	参加者：本学全教職員

■2023年8月10日（木）「2023年度第1回FD・SD研修会」



令和5年度 第1回FD研修会

日 時：令和5年8月10日（木） 13：30～16：00

会 場：本館402号室 ほか

目的：ティーチング・ポートフォリオの作成により、自らの教育活動について振り返るとともに、グループワークを通じて他学科教員の意見をいただき、それを学科等レベルの討議に持ち帰ることで、より広い視野での教育改善につなげる。

会 次 第

進行：FD・SD委員

1. 開会の辞
2. 学長あいさつ
3. 研 修
 - 1) 研修内容に関する説明
 - 2) グループワークⅠ（学科を越えて） 40分程度 402号室
 - i グループメンバーにTPを披露（一人5分程度）
 - ii グループ討議・意見交換（15分程度）
 - 3) グループワークⅡ（学科・専攻内） 40分程度 教室未定
 - i グループメンバーにTPを披露（一人5分程度）
 - ii グループ討議・意見交換（15分程度）
 - 4) グループワークⅢ（学科単位） 20分程度 教室未定
グループワークⅠ・Ⅱでの討議結果を学科単位で共有
 - 5) 各学科の討議結果を発表 10分程度 402号室
 - 6) TP完成に向けての説明
4. 閉会の辞

ティーチング・ポートフォリオ研修について

令和5年8月10日 FD研修会

★ティーチング・ポートフォリオとは

・ポートフォリオとは？

⇒ポートフォリオとは「書類入れ、ファイル」のこと。教育分野におけるポートフォリオは、様々な学習成果物を対象として、それらを保存・蓄積・整理・分類して、一覧にしたりすることでいつでも把握できるようにし、学習や指導の改善に役立てるもの。学習者毎に異なる学習プロセスを可視化するために用いられる。

・ティーチング・ポートフォリオとは？

⇒自らの教育活動について振り返り、記述された本文とそれを裏付ける資料（エビデンス）から構成された教育業績に関する記録

⇒教育改善、教育業績の評価を主たる目的として作成する

⇒ティーチングに関する優れた知識の共有あるいは情報の発信のツールとなる

引用 <http://www.teaching-portfolio-net.jp/about/>

大学評価・学位授与機構評価研究部ホームページ

★ティーチング・ポートフォリオの5つの要素

- ①責務：何を行っているか
- ②理念：どのような考えに基づいて行っているか
- ③方法：その考えをどのように実現しているか
- ④成果：その方法を行った結果、どうだったか
- ⑤目標：今後どのようにしたいか

★本日の研修について

ティーチング・ポートフォリオを学生に還元する物とするために、また、作成して下さった先生方にとって有益な研修とするために、次のような内容を考えました。

①GW1：学科を超えた先生方との共有

⇒専門領域が全然違う先生方の教育理念や教育手法について知り合い、取り入れられる手法や考え方について検討したり、質問しあったりする。

※誰が読んでもわかりやすい表現を目指してチェックしあってください。

②GW2：学科内の近い領域の先生方との共有

⇒専門領域の近い先生方でお互いの教育の理念や教育手法について知り合う。自分の授業の手法や伝えている内容と照らし合わせて、検討する事により今後の授業のあり方について検討する材料とする。

③GW3：学科全体での共有

⇒学科内のグループで検討した内容を共有する事により、目指す教育や用いる教育手法について学科として検討を行う。



【グループワーク記録シート】グループ内の他のメンバーの発言を聞いて記入をしてください。これをもとに意見交換を行ってください。

名前	①	②	③	④	⑤
A. 良いと思ったところ					
B. 面白いと思ったところ					
C. 取り入れたいと思ったところ					

2023年度 第1回 FD・SD研修会

「ティーチングポートフォリオの作成に関して」

日時：2023年8月10日

内容：今年度より導入されたTPについて、教員がそれぞれ試作品を持ち寄り、2回のグループワークを実施しました。1回目のグループワークでは、学科を超えて教員をグループ分けし、多様な価値観や視点に触れる機会を設けました。2回目は、学科ごとに、さらに担当科目が近い教員が集まる形でグループ分けを行い、TPを共有することで、専門領域に基づくより深い教科内容の議論ができるように工夫しました。

2023年度 第2回 FD・SD 研修会

「短大における ICT 教育を考える」

日時：2024年3月7日 14:30～16:10

内容：研 修

第1部 『最新の ICT 教育展開（小・中・高校の事例から）』

講師 渡邊 光浩 准教授

目的：GIGA スクール構想以降、小学校から高校まで、一人一台端末を含め急速な勢いで教育の ICT 化が推し進められ、これから短大に入学する学生は、私たちの経験したことのない形態の教育を受けています。そのような学びの中で、児童・生徒がどのような能力を形成するのか、今まさに鹿児島で行われている ICT 教育の最先端を、教員研修に携わり、現場の先生方と協働しながら ICT 教育を研究する渡邊先生からお話いただきます。

第2部 『ICT を活用した授業実践の事例』

講師 倉重 加代 教授

目的：短大においても、時代に即応した教育の在り方を模索すべく、ICT を活用した教育を多くの先生方が実践されています。今回はその中から、倉重先生に授業の実践事例をご紹介します。何のために ICT を取り入れたのか、その結果どのように授業が変化したのか、具体的にお話いただくことで、各教員の授業作りの示唆やきっかけになればと考えています。



あとがき

2023年度は、これまでの授業改善報告書に替えて、教員の教育活動を包括的に記載するティーチング・ポートフォリオ（TP）の作成を義務づけた。その完成度やFD活動としての有効性については、さまざまな評価ができると思う。TPの最初の項目は「理念」であるが、英語文献で原語を調べるとPhilosophyであることがわかった（別の語もあるかもしれない）。委員長として、TP作成の目的は、まずは自分の教育・研究に関する理念・哲学を自由に披歴してもらうことだと考え、細かい条件をつけるのをやや控えたつもりである。前期末には、内容が独りよがりにならないように研修を行い、相互にTPを発表して意見や感想を出し合った。研修は概ね好評で、他学科教員との交流もあり有意義であったとの感想も多かった。年度末には全員からTPの提出があり、相互の閲覧も可能にした。ひとたびその意義が認識されたならば、各年度の教育活動報告と授業評価アンケートを踏まえた反省が蓄積され、バージョンアップされていくことだろう。

現在の大学教員で、大学教育への危機感を抱かない者はないだろう。しかし、FD活動の推進に前向きな者もたぶん少ない。約30年前に授業アンケートを導入したときも、かなりの抵抗に遭った。「学生に授業を評価させるなんて言語道断」といった意見がある中、「自助努力」による授業改善のためという理由、人事考課には使わないという条件で承認に漕ぎつけた記憶がある。現在、結果がさほど代わり映えしないという問題、回収率が下がり気味という問題はあるが、アンケートをしないという選択肢はない。それほど、FD活動にとってアンケートはなお重要な位置を占めている。アンケート同様、TP活動が、軌道修正を加えながら、今後、本学FD活動の基軸となっていくことを期待したい。

鹿児島女子短期大学FD・SD委員会
2023年度委員長 村若 修